

このまちの100年

「福山」

江戸初期、水野勝成へ領地が与えられると、新たな城を築城し福山城と命名。城下町が整備され地名も福山になります。明治初期に広島県の一部となり、大正期に市制で福山市へ。戦後、重化学工業が発達し瀬戸内有数の工業都市となりました。



昭和10年頃

昭和7年に架橋された草戸大橋。芦田川の東西をつないでいた



昭和10年頃

福山城築城の際、運河として開削された福山入江。奥に小さく福山城の天守が見える



昭和30年頃

福山本通商店街のアーケードは平成28年に撤去、現在はとおり町ストリートガーデンと呼ばれる



昭和30年頃

笠岡町の本通で、北方面を望む。右に入った先に映画館の大黒座があった。現在は左側に、とおり町交流館がある



昭和30年頃

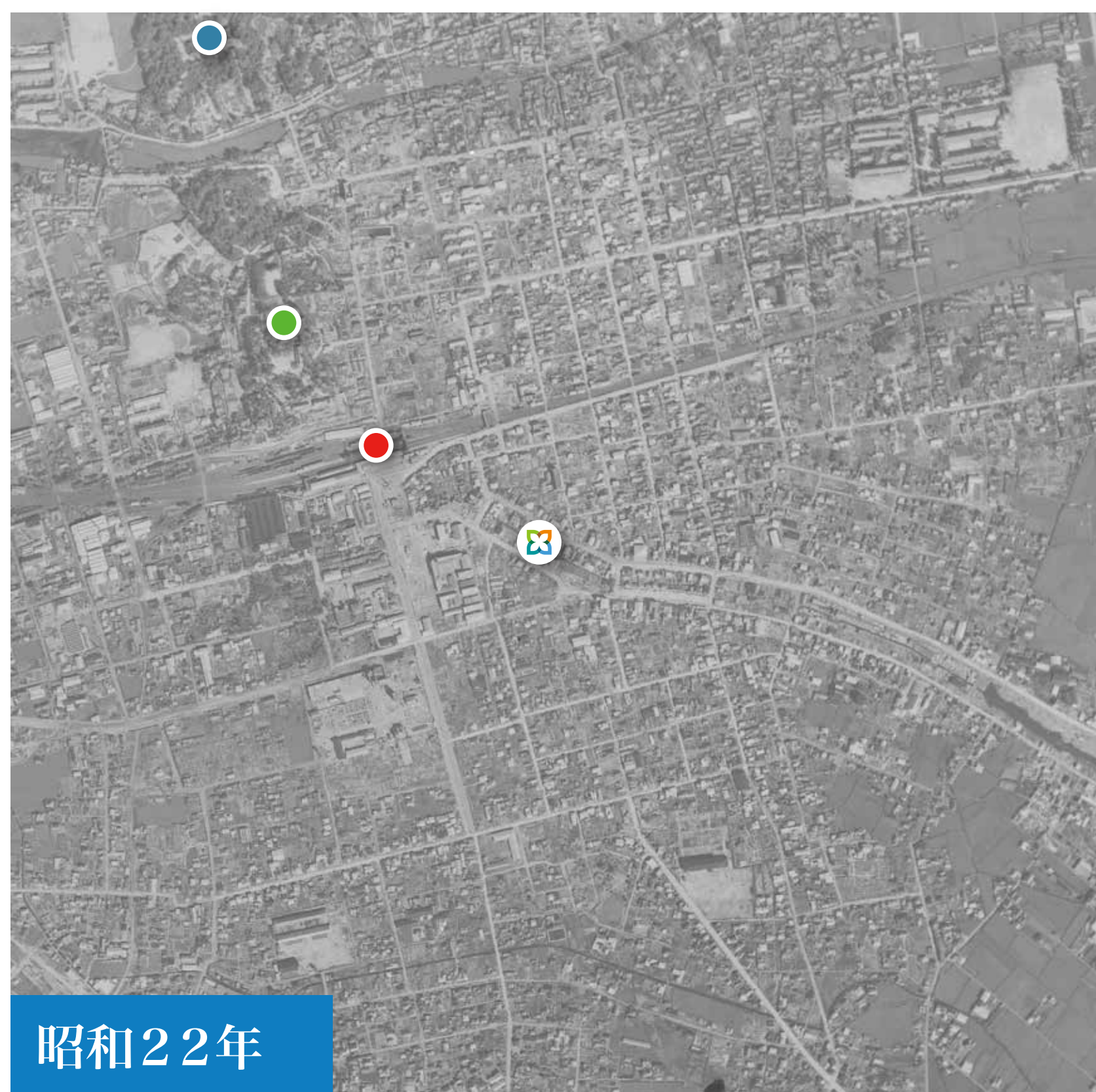
福山駅前広場と駅前大通は戦災復興都市計画により整備された。中央付近には昭和22年に開店した天満屋福山店が見える



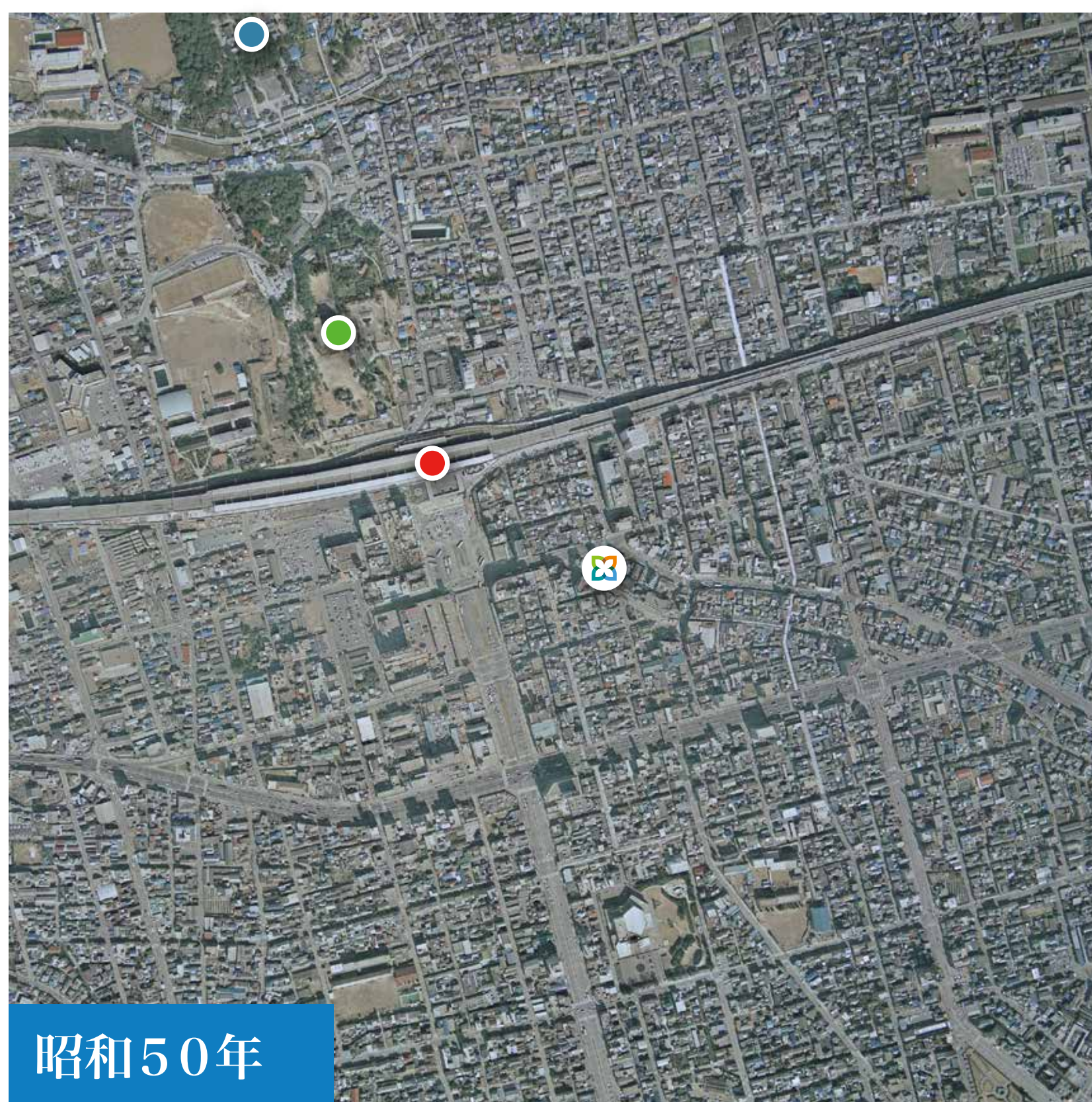
昭和41年

福山元町通商店街のアーケード。通りの右側一帯では再開発が行われ昭和59年に完成、天満屋福山店が拡張された

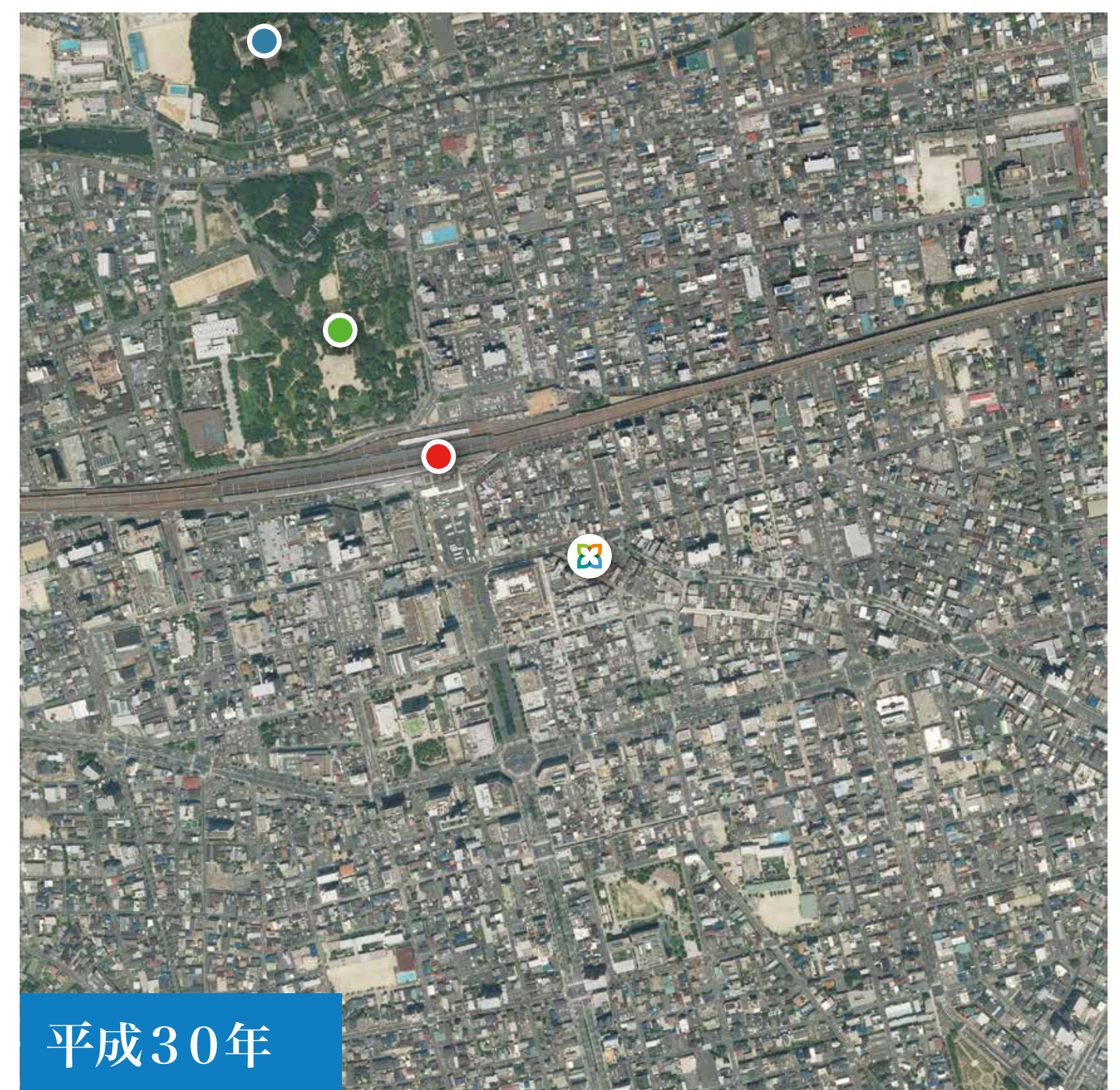
上空からみた福山エリア



昭和22年



昭和50年



平成30年

●：野上八幡神社・延広八幡神社／福山八幡宮 ●：福山城址／福山城 ●：福山駅
●：現在地

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ